

Rhizopus 麹由来物質の投与により発毛を認めた脱毛症Xのポメラニアン1例

池 順子^{1,2} 安岡 香理² 横内 博文² 作野 幸孝² 吉村 清司¹ 吉田 恭治¹ 関口 麻衣子³

¹吉田動物病院 ²奈良動物医療センター ³帝京科学大学

はじめに

脱毛症Xは体幹部を中心とした非炎症性の進行性、両側対称性の脱毛が特徴的な皮膚疾患で、その病因は明らかにされていない。そのため様々な治療法が試みられているが治療に対する反応は多様で、いまだ確実な治療法は確立されていない。今回我々はメラトニンの投与で効果が得られなかった症例に対して、*Rhizopus*を培養した麹より得られる生理活性物質を精製したサプリメント(以下R&U)の投与を行ったところ顕著な発毛を経験したので報告する。

症例

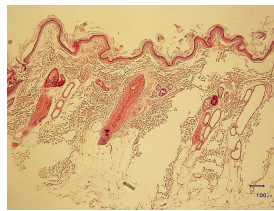
- ポメラニアン、去勢雄、3歳齢、2.5kg
- 初診：2013年9月18日
- 主訴：サマーカットの後被毛の再成長がみられない
皮膚が乾燥し脱毛、痒みはない
- 既往歴：胃腸炎

第1病日



- 色素沈着を伴う頭部の脱毛
- 乾燥し光沢のない被毛

病理組織像



- 著しい毛包の萎縮
- 表層部、特に毛漏斗の過角化

検査成績

血液一般検査		生化学検査		
WBC	10500 /μL	TP	7.4 g/dL	皮膚掻爬検査 陰性
lym	2900 /μL	Alb	3.5 g/dL	抜毛検査 主に休止期毛
mon	500 /μL	ALT	47 IU/L	細胞診検査 異常を認めず
eos	0 /μL	AST	27 IU/L	ACTH刺激試験(コルチゾール値)
gr	7100 /μL	ALP	82 IU/L	刺激前 7.3 μg/dL
RBC	692 × 10 ⁴ /μL	Tcho	213 mg/dL	刺激後 18.6 μg/dL
Hb	18.5 g/dL	Glu	121 mg/dL	甲状腺機能検査
HCT	49.3 %	BUN	33 mg/dL	T4 2.2 μg/dL
MCV	71.2 fL	Cre	1.2 mg/dL	ft4(ED RIA) 30.9 pmol/L
MCH	26.7 pg	Na	147 mmol/L	c-TSH 0.16 ng/mL
MCHC	37.5 g/dL	K	4.8 mmol/L	尿検査 異常を認めず
PLT	45.9 × 10 ³ /μL	CL	124 mmol/L	

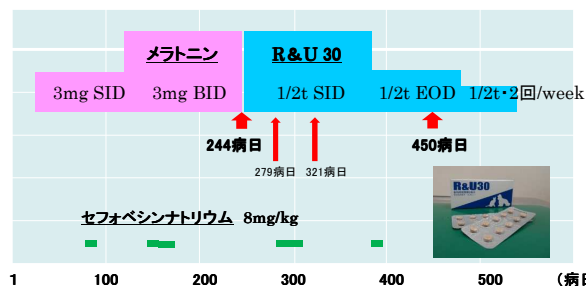
診断：脱毛症X

脱毛症Xに対する治療

	副作用の可能性	有効率
中性化		50-70%
メラトニン	安全性が高い、糖尿病で禁忌	40%
ミトタン	副腎の壊死	50%
トリロスタン	比較的安全、副腎の壊死	87.5%
無治療		

・その他：成長ホルモンやメチルテストステロンの内服等

本症例の治療および経過



第244病日 (R&U投与前)



- 頸部と胸腹部、大腿尾側に脱毛と色素沈着
- 体幹部の被毛は1次毛が失われ乾燥

第279病日 (R&U投与28日目)

- 背部に部分的な発毛
- 頸部背側と背部に膿胞、痂皮、表皮小環

第321病日 (R&U投与70日目)

- 頸部、背部、胸腹部、大腿尾側で発毛

第450病日 (R&U投与199日目)



- 全身性に光沢のある被毛の再生
- 一般状態は良好
- CBC・生化学検査において特記すべき異常を認めず

まとめ

- 本症例はメラトニンの投与を6ヶ月間行うも効果がみられなかったが、R&Uの投与を開始したところ投与1ヶ月で部分的な発毛が、投与2ヶ月半で全身的な発毛が認められた。
- 本症例はR&Uの投与前にメラトニンを使用していたため今回の発毛がR&Uのみの効果によるものなのかどうかを確定することはできないが、R&Uは伴侶動物に対して発毛育毛効果があり、ポメラニアン脱毛症Xでは15例/24例で全身に発毛が、4例/24例で部分的な発毛がみられたと報告されており、今後安全性が高い治療選択の1つとなる可能性が示唆された。

参考文献

- Miller W.H, Griffin C.E, Campbell K.L. 2013: p.537-540. Muller&Kirk's Small Animal Dermatology, 7th ed. Elsevier Mosby, St.Louis.
- 第7回 世界獣医皮膚科学会教育講演 和文抄録2012, p.119-123. 日本獣医皮膚科学会
- Gross T.L, Ihrke P.J, Walder E.J, Affolter V.K. 2009: p.497-500. 犬と猫の皮膚病, 日本獣医皮膚科学会監訳, 第2版. インターズー, 東京.
- 阿部 嗣, 井上 亮一ら. 2004: ポメラニアンAlopeciaX: Rhizopus 麹由来生理活性物質を用いた新しい治療法の試み. 第7回日本獣医皮膚科学会 学術大会・総会. 日本獣医皮膚科学会.